

生体試料による肺癌遺伝子変異と治療効果の関連性の検討

1. 研究の対象

2015年1月～2022年3月までに当院で肺癌の検査・治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

この研究は、診断や治療のために採取されたさまざまな肺癌検体から、肺の癌化に関する遺伝子を調べて治療効果への影響をみるものです。

肺癌診断のために行う検査で採取された肺癌組織の一部や、手術で切除した検体の一部を研究のために使用します。採取した検体から、DNA や RNA を取り出して癌化に関連する遺伝子について千葉大学の分子病態解析学、呼吸器病態外科学の研究室、また、匿名化した状態で東京大学、倉敷紡績株式会社技術研究所、オリンパス株式会社、及びかずさ DNA 研究所に提供し解析を行う場合もあります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報は主に病歴、治療歴、抗がん剤による副作用の発生状況、カルテ番号などの日常診療の中で得たものになります。

また、採取する試料に関しては、手術で切除した肺癌の組織、気管支鏡などの検査で得た細胞の組織、血液などで、日常診療で行う過程で得られる組織の余剰を使用させて頂くものであり、研究のためだけに採取するものではありません。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供、組織の試料提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人を特定する対応表に関しては、当センターの研究責任者が保管・管理し、当施設施設（千葉大学医学部附属病院）以外からは特定できない状態で提供を行います。

5. 研究組織

東京大学大学院医学系研究科（細胞情報学分野）教授	間野 博行
倉敷紡績株式会社技術研究所	宮川 功
オリンパス株式会社	近藤 聖二
かずさ DNA 研究所	小原 収

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科 講師 中島 崇裕

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話:043-222-7171

内線 5464 (呼吸器病態外科学)

研究代表者：

千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 教授 吉野 一郎

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話:043-222-7171 内線 5464 (呼吸器病態外科学)